

古賀市教育委員任命式あいさつ

古賀市教育委員任命式にあたり議会を代表してひとことご挨拶申し上げます。

9月定例会において、石橋国重さん、小山佐稚子さんを教育委員に任命する件について、議会として賛成全員で同意いたしました。お二人におかれましては古賀市の教育行政の更なる充実のためご尽力いただきますよう宜しくお願いいたします。

現在定例会開催中で、決算審査も行われました。教育費についても様々な質疑がありました。学校評議員会と運営協議会との関係については教育長から明確な答弁がありました。

また人的配置については、2013年度決算では延べ3596人、1億700万4935円となっていました。2014年度予算は約1億1700万円です。

こうした取り組みが持続可能かつ普及可能なものとするためにはどうしたらよいのかぜひ検討をお願いします。

来年度から教育委員会制度の改正が施行されます。教育の中立性、自主性や継続性にとって大きな影響があるのではないかと危惧の念を強くしています。しかし、どのような形になるにしても、古賀市で取り組んできた学校現場への人的配置をはじめ、きめ細かい教育実践を継承・発展させることが重要であり基本ではないかと思ひ

ます。

今年7月15日発行の「内外教育」に荒木隆教育長のインタビュー記事が掲載されています。大変わかりやすい言葉で古賀市の教育行政の特徴をお話ししています。体力づくりやキャリア教育、特に子ども一人一人と向き合う時間を確保すること、これこそが教育委員会の仕事だと強調されています。

そして古賀市独自の人的配置の予算確保について、行財政改革の多くの部分を教育委員会部局が担う状況で、その成果を可能な限り教育条件の整備に充ててほしいと教育委員会から市長に申し入れたこと、議会の支持も得て少しずつ拡大してきたと経過を述べています。まさ

にその通りだと思えます。

さらに学力テストの結果を公表しないこと、安倍政権による教育委員会制度改革の影響が軽微であり、古賀市では総合教育会議の必要性が少ないことなども述べています。

私は今後の古賀市の教育委員会の在り方についてきちんと述べられていると思いい、これが尊重されることを期待します。

古賀市議会議員は18人ですが、古賀市の子どもたちのために教育施設面、教育振興面、子どもの貧困対策面などで更なる充実が図られるよう議会としても役割を發揮していきたいと思えます。

むすびに、大神教育委員長、荒木教育長を中心に古賀市の教育委員会がますます素晴らしい教育行政を推進されることを期待してあいさつとします。

2014年9月24日 古賀市議会議長 奴間健司